

事 務 連 絡
令和7年8月28日

各 都道府県・市町村 介護保険担当主管部（局） 御中

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課

生活支援共創プラットフォーム（全国版）の第2回シンポジウムについて（ご案内）

平素より厚生労働行政にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

高齢者の地域での生活は地域の様々な分野の多様な主体との関わりの中で成立するものであり、高齢者の尊厳ある自立した生活を支えていく体制を構築するためには、介護保険制度の領域を越えた活動との連携を深めることが重要です。そのため、厚生労働省では、分野を越えた連携の促進を図る観点から、高齢者の生活支援を地域の多様な主体の共創により進めるプラットフォーム（生活支援共創プラットフォーム（全国版））の構築を進めているところです。

このたび、本プラットフォームや多様な主体の連携にイメージが持てるよう、多様な主体の連携を強化するとともに、地域で高齢者の生活支援を促進するための具体的な方策や事例を共有することを目的とし、下記のとおり「第2回シンポジウム」を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

つきましては、積極的にご参加いただくとともに、庁内の関係部署及び管内の関係機関等に周知いただき、多様な主体との連携の契機としていただけますと幸いです。

記

第2回シンポジウム 概要（添付のチラシもご参照ください。）

1. 開催日時

令和7年9月26日（金）13:00～16:00（予定）

2. 開催方法

対面とオンライン配信によるハイブリッド開催（いずれも要申込）

3. 参加方法・対象者

会場参加 本プラットフォーム構成員（全国規模の関係団体、関係府省庁）定員100名

会場：ステーションコンファレンス東京 501A+B

（東京都千代田区丸の内1-7-12サピアタワー5F（JR東京駅日本橋口直結））

オンライン参加 どなたでも参加可能（自治体職員、多様な主体の関係者等）

方法：YouTube Liveによる配信

4. プログラム内容（予定）

第1部（会場・オンライン共通）

（1）開会挨拶・趣旨説明

（2）本プラットフォームの紹介（機能紹介等）

（3）分野を越えた共創による地域づくりの事例紹介・パネルディスカッション

第2部（任意参加・会場参加者のみ）

（4）登壇者や参加者同士の交流



専用サイト

5. 申込方法

令和7年9月19日（金）17時までに、以下専用サイト又は右の二次元コードよりお申し込みください。

[生活支援共創プラットフォーム 第2回シンポジウムのご案内](#)

（補足）都道府県・市町村や個別の団体・企業のみなさまは、「参加申込フォーム②」（オンラインのみ）からお申し込みをお願いいたします。

6. お問い合わせ

本シンポジウム及び生活支援共創プラットフォーム（全国版）に関するお問い合わせは、以下の事務局までお願いいたします。

専用サイトにアクセスできない場合にも、以下事務局までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

【生活支援共創プラットフォーム（全国版）事務局】

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療・労働政策研究部

担当：河野・佐藤・谷口

TEL：0120-506-713（平日 10:00-17:00）

E-mail：shien_1@jmar.co.jp

7. その他

シンポジウム第1部の様子については、後日、プラットフォームの専用ホームページからオンデマンド配信する予定です。（参加申込をいただいた方にURL等送付いたします。）

【参考】生活支援共創プラットフォーム（全国版）について

高齢者の地域での生活は、医療・介護のみならず、地域の交通・産業・商業などの経済活動や住民による取組など、多様な主体との関わりの中で成立するものであり、市町村が高齢者の住み慣れた地域で尊厳ある自立した生活を支えていく体制を構築するためには、介護保険制度の領域を越えた活動との連携を深めることが重要です。

そのため国や都道府県に、高齢者の生活支援を地域の多様な主体の共創により進めるプラットフォーム（生活支援共創プラットフォーム）を置き、高齢者の生活に関わりのある様々な分野の多様な主体に参画いただき、高齢者の生活支援に向けて連携の促進を図りたいと考えています。

その中でも国（全国版）のプラットフォームは、多様な分野の全国規模の関係団体等が、地域づくりのプレイヤーとして集い、交流することで、高齢者を支える生活支援の取組を共創していく基盤として位置づけています。

具体的には、専用ホームページを作成して情報交換（イベント情報の共有、地域での活動事例の紹介等）や会員同士の相互交流（交流掲示板等）を行うほか、定期的なシンポジウム等の開催により、全国規模の関係団体やその会員による地域レベルでの共創を目指しています。なお、専用ホームページについては今年度秋頃から本格運用予定です。

詳細につきましては、[第1回シンポジウム](#)の資料もご参照ください。（第2回シンポジウムにおいてもご説明させていただく予定です。）

【厚生労働省担当】

厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課

地域づくり推進室 地域包括ケア推進係

TEL：03-5253-1111（内線3986）

生活支援共創 プラットフォーム 第2回シンポジウム

9/26(金) 13:00~16:00

参加費
無料

高齢者の地域での生活は、医療や介護だけでなく、交通・産業・商業などの経済活動や住民活動など、様々な分野における地域の多様な主体と関わり合いながら成り立っています。そのため、高齢者の生活を地域で支えていくためには、分野を越えた、地域の多様な主体の連携が欠かせません。

厚生労働省では、分野を越えた連携の促進を図る観点から、高齢者の生活支援を地域の多様な主体の共創により進めるプラットフォーム(生活支援共創プラットフォーム(全国版))の構築を進めているところです。

このたび、多分野の多様な主体の連携を促進するとともに、高齢者の生活支援を促進する具体的な方策や事例を共有するために、各地域で共創の取組を進めている方々を招いてシンポジウムを開催いたします。

分野を問わずどなたでも、興味のある方はお気軽にご参加ください。

プログラム

1	13:00	開 会	挨拶・趣旨説明
2	13:10	プラットフォームの紹介	プラットフォームのホームページの機能の紹介
3	13:20 ~ 15:00	【第1部】 分野を越えた共創による 地域づくりの事例紹介 ・ パネルディスカッション	■事例発表 ○湯沢ロイヤルホテル 「ホテル×健康・介護予防から地域の活性化を目指す」 ○千代田区×(株)アイセイ薬局 「官民連携による高齢者を支える取組について」 ○NPO法人きらりよしじまネットワーク 「住民主体で創る支えあいの地域づくりとその仕組み」 ■パネルディスカッション ■質疑応答
		休 憩	
4	15:10 ~ 16:00	【第2部(任意参加)】 交流企画 ※会場参加者のみ	■交流(分科会) 興味を持った事例内容(発表者)ごとに分かれ フリートーク

共創による地域づくりの 取組(登壇者)

- 湯沢ロイヤルホテル
(ロイヤルフィットネス)
株式会社協同企画 ヘルスケア部長
千葉 泰史 氏
- 東京都千代田区
保健福祉部 在宅支援課地域包括ケア
推進係 主任 小泉 隼人 氏
株式会社 アイセイ薬局
薬局営業推進部 次長 中川 裕子 氏
- NPO法人
きらりよしじまネットワーク
常勤理事 高橋 由和 氏
- ★ パネルディスカッション
ファシリテーター
東京都立大学 人文社会学部
准教授 室田 信一 氏

●開催日時: 令和7年9月26日(金) 13:00~16:00

●参加方法・対象者・定員

【会場参加】本プラットフォーム構成員(全国規模の関係団体、関係府省庁) 定員100名

会場 ステーションコンファレンス東京 501A+B

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー5F(JR東京駅日本橋口直結)

【オンライン参加】どなたでも参加可能 定員1,000名程度

YouTubeLiveにて配信(お申込みいただいた方にURLをお送りします。)

申込方法 以下サイトまたは右の二次元コードよりお申込みください

<https://seikatsu-kyosopf.mhlw.go.jp/symposium/2nd/>

申込期限 令和7年9月19日(金)17時まで

お問い合わせ先 (株)日本能率協会総合研究所 河野・佐藤・谷口 0120-506-713(平日10:00-17:00)



主催:厚生労働省／事務局:(株)日本能率協会総合研究所